

愛知の梨「あいみずき」

1 ブランド梨「あいみずき」について

- 糖度が高く甘味が際立ち、果汁たっぷりで見ずみずしく、シャリッとした食感が特徴です。
- 13年の歳月をかけ、2018年に開発されました。愛知県農業総合試験場と国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の共同開発となります。
- 愛知県で生産された果実のうち、色、大きさをチェックし、**県の定めた品質基準※1を満たした高品質な果実のみが、「あいみずき」として販売**されます。
- 2020年から県内の各産地で苗木が導入されており、安城市、大府市、豊橋市、西尾市を中心に栽培が広がっています。生産量も年々増加し、**2025年より本格的に出荷が始まる予定**です。

※1 「あいみずき」品質基準

- 着 色：愛知県農業総合試験場作成のナシ「瑞月」カラーチャート
2以上※2（無袋栽培の場合）
2.5以上※2（有袋栽培の場合）

※2 糖度12度以上となる目安

- 大きさ：380グラム以上



ナシ「瑞月」カラーチャート
(愛知県農業総合試験場作成)

2 ブランド名及びシンボルマークについて

消費者への認知度を高めるため、「あいみずき」ブランド化チームにおいてブランド名やシンボルマークのデザインを決定しました。

<デザインコンセプト>

- ブランド名「あいみずき」は、「愛知で生まれた瑞々しい梨」をイメージして名付けられました。
- キャッチコピーは、「**愛らしく、瑞々しく**」。「消費者に愛される梨になってほしい」という想いや、果汁たっぷりで見ずみずしい果実を表現しています。
- シンボルマークは、瑞々しさを表す雫、高級感を表すダイヤ、愛らしさを表すハートのパーツを組み合わせ、全体的に品がありながら、独創性のあるシンボルマークとしました。

3 ブランド化の取組について

- 県は、2020年11月に「あいみずき」ブランド化チームを立ち上げ、構成員である農業団体や生産者等と連携し、高品質果実生産の推進や消費者へのPRを行っています。
- 2022年8月に知事が定例記者会見で、「あいみずき」販売開始の発表を行いました。
- 2021年から毎年、県内の百貨店や量販店にてPRイベントを実施しています。



知事定例記者会見

(2022年8月15日)の様子